

- 再建の歩み
- あまやどり～自主防災避難地～&ちだま茶屋
- 農耕神事の御報告
- 世界平和祈願の御報告
- 神道交流会
- SNS・オンライン申請の御案内
- 年頭祈祷、初詣の御案内
- 2026年 年間行事

結

不二阿祖山太神宮 崇敬奉賛会 会報



※台座…能登の産材（ヒノキ）を使用

2025 Vol.12

恒例 神事・祭祀の写真



1月1日 元旦祭



1月 初詣 / 新年祭



2月 立春大祭



3月 火成祭り流し雄奉告祭



5月 お田植え祭



6月 天地四方拝



7月 周年大祭・蜚復活奉告祭



8月 世界恒久平和祈念供養祭



10月 収穫祭



11月 世界鎮火祭



11月 新嘗祭



12月 大宝開良霊祭

※ 宗門宗派はございません。どなたでも参加できる神事でございます。

◆ 通年 神事・祭祀・各種供養祭

地鎮祭 / 木伐採感謝修復祭
池・井戸・沼・田んぼ・浄化槽埋設感謝修復祭
祖霊祭祀 / 万霊供養(救霊)祭

◆ 人生儀礼

初宮詣奉告祭(お宮参り)
七五三詣奉告祭 / 神前結婚式
神葬祭



七五三詣奉告祭



地鎮祭



神前結婚式

不二阿祖山太神宮

【鎮座地】山梨県富士吉田市大明見山ノ神戸3510
【ナビ専用住所】〒403-0003 山梨県富士吉田市大明見3537
【連絡先】不二阿祖山太神宮 元宮社務所
TEL : 0555-24-3609 FAX : 0555-25-6023



HP



LINE



Instagram

不二阿祖山太神宮 再建の歩み

不二阿祖山太神宮の再建は 日本国重要文化財保護・復元事業



不二阿祖山太神宮は、「富士古文書」、「宮下文書」、「竹内文書」等の古文書の中に登場し、歴史ロマンとして有名ですが、歴史ロマンの論議は、学者者にお任せしています。

また、富士山の北麓に栄えたとされる富士王朝の天皇家との縁が複数の古文書に記されており、日本最古の神社のひとつとも考えられています。国祖の神とも称される国常立太神（富士太神、北極星の神、道祖神、田の神とも呼ばれる）を御祭神として祀る総本宮です。

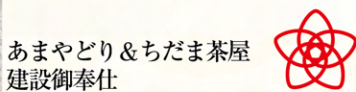
〈不二阿祖山太神宮再建の歴史〉

不二阿祖山太神宮は歴史の中で何度も再建と消失を繰り返しており、現在は、復元事業の一環としてその再建が進められています。

二〇〇九年には宗教法人格を取得し、現在は文化庁発行の宗教年鑑に神道系の宗教法人として掲載されています。また、富士山神社や富士山太神宮という別称も用いられています。



神道塾 塾生による清掃御奉仕



あまやどり&ちだま茶屋
建設御奉仕



〈不二阿祖山太神宮再建の目的〉

不二阿祖山太神宮を建立することにより、神道の精神と生き方を世に拡げ、神と人と自然が大調和し、感謝と喜びに満ちた惟神の生き方を復活させていただくことを目的としています。

〈田の神信仰〉



不二阿祖山太神宮の信仰は、自然の神々を崇拝する自然信仰に基づいており、主に農耕に関連した神事を斎行しています。代表的な神事には、お田植え祭、収穫祭、新嘗祭などがあります。

〈神事・祭事〉

さらに、毎月第一日曜日（一月、二月、五月は除く）には月霊感謝のみ祭りを恒例の神事として斎行しています。また、祈願・祈祷、各種個人祭事も斎行しています。



建設委員会による建設御奉仕



参拝者による清掃御奉仕



太神宮 HP
神事・祭事

不二阿祖山太神宮 盛衰

〈大和・飛鳥時代〉

聖徳太子が、日本の太神宮を不二山の山岳信仰を
して残す。十七条の憲法第一項「和をもつて尊し
となす」。この「和」とは、神道を第一になす。仏
教の勢力の強いなか、山岳信仰の形で神道の靈験を
残された。

〈平安時代〉

富士山は噴火を繰り返し、特に大きな二回の噴火
により完全に焼失する。

〈鎌倉時代〉

源頼朝公が鎌倉に幕府を設立するにあたり、富士山
の鬼門にあった不二阿祖山太神宮を再建する。これ

により鎌倉時代、富士山の噴火は止まった。(第一
回目の再建)

鎌倉は後醍醐天皇をはじめ、足利尊氏など、幕府
に反旗を翻した多くの武士達により没落、幕府は
滅亡する。

〈室町時代〉※南北朝の戦い

鎌倉時代を滅亡させた後醍醐天皇と足利尊氏が対
立し、足利尊氏が北朝を建て、室町幕府をひらき、
仏教をもつて世をおさえようとしたため、神道、
神社は仏教の下に置かれ、衰退していく。

不二阿祖山太神宮も衰退。富士山の噴火活動は
活発化していく。

〈江戸時代〉

鎌倉、室町に続く武家政権最後といわれる江戸
幕府(徳川幕府)。仏教を主とした神仏習合。仏教
でもって治められていた。不二阿祖山太神宮は完全
に衰退する。宝永大噴火が起きる。

富士山の噴火史と阿祖山太神宮の衰退

平安時代	延暦大噴火(800年) 貞観大噴火(864年)	阿祖山太神宮 衰微、焼失
鎌倉時代	噴火沈静化	頼朝、阿祖山太神宮を再建 富士山本宮浅間大社、隆盛へ
室町時代末期	噴火活動活発化	阿祖山太神宮 衰微
江戸時代	宝永大噴火(1707年)	阿祖山太神宮 完全に衰微
現代	地震、地割れなど、 噴火の予兆とみられる 活動が活発化	阿祖山太神宮 復興へ

五度目の再建

過去にも、不二阿祖山太神宮の重要性をわかって
再建に取り組んだ方々がいらっしやいました。

一回目は、聖徳太子が一部修正されました。

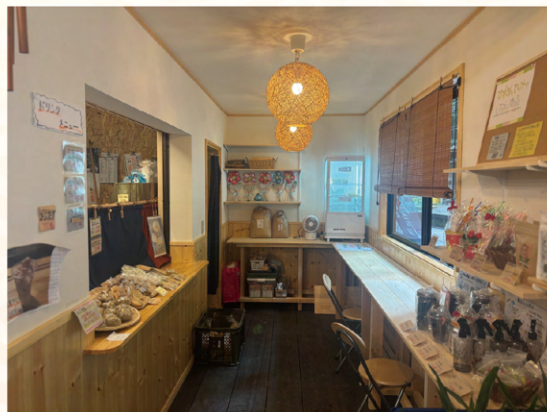
二回目は、鎌倉時代、源頼朝公が再建をされまし
たが、その後衰退していきました。

三回目は、大正時代、斎藤実元首相、神原信一郎
元東京府長も地元と関わり進めようとされました
が、形になりませんでした。

四回目は、昭和五十年頃に、地元の富士山北東
本宮小室浅間神社の宮司と地元の方々によって再建
運動がおきましたが、途中で終わりました。

五回目は、今、ようやく不二阿祖山太神宮の再建
が、渡邊政男氏一人からはじまり、全国から集まっ
た有志、地元の方々によって本格的に進み出して
おります。

あまやどり〜自主防災避難地〜&ちだま茶屋



オープニングセレモニーの様子

令和七年八月八日、いこいの広場に建設された、「あまやどり〜自主防災避難地〜&ちだま茶屋」のオープニングセレモニーが開催されました。

自主防災避難地とは、有事のときに困っている誰もが集える避難地として、自主的に備えておく施設です。

施設内のテーブルや椅子、照明は、「防災SOSの家」として登録されている能登の施設の近くで集められた流木や解体された木材を使って、会員の皆さんの手作りです。木の役割は終わっても、その木材は別の形で家具などに生まれ変わり、優しさや温かさを感じられる、とても素敵なものになっています。





二〇二五年九月二十一日（日）、十ヶ国の大使館より、
特命全権大使をはじめ、各国大使館関係者の方が世界
平和祈願にご参列くださいました。



世界平和祈願の御報告

2025年5月18日（日）お田植え祭

お田植え祭は、田の神様、自然界の神々様に感謝を捧げる農耕神事で、
天地と稲を結ぶ結婚式でございます。



動画



お田植えの儀



農耕神事の御報告

2025年9月21日（日）収穫祭



動画



収穫の儀



自然界の神々様の恩恵を受け、稲穂がたわわに実り、収穫の日を迎えることが
できた喜びと、限りない感謝をお捧げさせていただく神事でございます。



SNS、オンライン申請のご案内



不二阿祖山太神宮公式SNS



〈ライブ配信〉

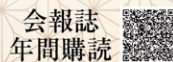
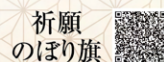
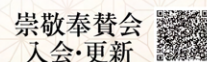
月に一度の月霊感謝のみ祭りを、崇敬奉賛会の会員様限定内容でライブ配信を行っております。視聴をご希望の方は、下記メールアドレスまでご連絡いただけますようお願い申し上げます。



✉ fujiasoyamadaijinguu@gmail.com

※一般の方は、不二阿祖山太神宮公式ホームページのトップページ「月霊感謝のみ祭りライブ配信」からご覧いただけます。

〈オンライン申請〉



認定NPO法人 地球と共に生きる会



「未来の子ども達に、美しい地球を、そして大自然と共に和して生きてきた日本古来からの生き方を残してあげたい」という大きな目標の下、あらゆる角度から善化活動を推進している団体です。

このYouTubeチャンネルでは、「人と自然が調和した生き方」や、玄米粉料理のワークショップ「体が喜ぶ食材とレシピ」が配信されています。

FUJISAN 地球フェスタ WAの事務局を務めています。

FUJISAN 地球フェスタ WA



不二阿祖山太神宮は、FUJISAN 地球フェスタ WAの「親子稲作体験 お田植え祭・収穫祭」の祭事委託を受けております。

このYouTubeチャンネルでは、「親子稲作体験 お田植え祭・収穫祭」の様子や、地球フェスタの紹介等が配信されています。

神道交流会



◆場 所 太神宮会館

住所：山梨県富士吉田市大明見 3537

◆対象者 正会員・準会員・一般

神道について知りたい方、学びたい方
ご参加をお待ちしております。

◆参加費 無 料

◆時 間 13時～14時 ※5月17日(日)のみ 14時～15時

◆申込方法 お電話かFAX(氏名と連絡先をご記入の上)にてお申込みをお願い致します。 当日参加もできます。

TEL 0555 (24) 7762 (9時～18時まで)

FAX 0555 (24) 7763

◆2026年 年間予定

1月18日(日) / 2月9日(月) / 3月16日(月)
4月13日(月) / 5月17日(日) / 6月15日(月)
7月20日(月・祝) / 8月11日(火・祝) / 9月22日(火・祝)
10月19日(月) / 11月9日(月) / 12月19日(土)



神道交流会の様子



年頭祈禱

年頭祈禱とは、
親神様からの「お年玉」の
ようなものでございます。

世界平和と崇敬奉賛会の皆様から
寄せられた個々の願いを、
元主一太御神様(元旦神)に
祈禱する祭事でございます。
期日までにお申し込みいただいた
年頭祈禱は、一ヶ月の間、当神宮の
大宮司が祈禱いたします。その後、
年が明けた二〇二七年一月一日の
午後一時半から当神宮の境内地にて
皆様の大切な願いが込められた
祈禱紙をお焚き上げいたします。
可能であればお焚き上げにご参列
いただけますと幸いです。



1. 願いごとは、簡潔にひとつまでご記入ください。
2. ご記入には、出来るだけ筆または筆ペンをお使いください。
3. 初穂料は 3,000 円以上からお願いします。
4. 必ず、祈禱紙と初穂料と一緒に封筒に入れてください。
5. 申込み期限は、2026 年 11 月 30 日必着となります。
6. 郵送先

〒403-0002

山梨県富士吉田市小明見 5-5-18

・題 名

健康 学業成就 商売繁盛 家内安全 恋愛成就 交通安全
厄除け 子宝 安産 その他

- ・初穂料 ※祈禱内容に相応しい初穂料をお納めくださいますようお願い申し上げます。
3,000 円以上

※状況により変更が生じることがございます。

お申込期日 2026 年 11 月 30 日(月)まで

不二阿祖山太神宮 初詣

二〇二六年一月一日(木)～十四日(水)

社務所開所時間 九時～十六時

不二阿祖山太神宮

ナレーションキャラクター

都留ノ宮七五三(なごみ)



※お正月限定の授与品等、最新情報は

こちらからご確認ください。



Instagram

2026 厄年表 (数え年)

前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
男性 大厄 42 歳			女性 大厄 33 歳		
2003 年(平成 15 年)	2002 年(平成 14 年)	2001 年(平成 13 年)	2009 年(平成 21 年)	2008 年(平成 20 年)	2007 年(平成 19 年)
24 歳 丑	25 歳 子	26 歳 丑	18 歳 子	19 歳 丑	20 歳 寅
1986 年(昭和 61 年)	1985 年(昭和 60 年)	1984 年(昭和 59 年)	1995 年(平成 7 年)	1994 年(平成 6 年)	1993 年(平成 5 年)
41 歳 子	42 歳 丑	43 歳 寅	32 歳 寅	33 歳 卯	34 歳 辰
1967 年(昭和 42 年)	1966 年(昭和 41 年)	1965 年(昭和 40 年)	1991 年(平成 3 年)	1990 年(平成 2 年)	1989 年(平成元年)
60 歳 子	61 歳 丑	62 歳 寅	36 歳 子	37 歳 丑	38 歳 寅
			1967 年(昭和 42 年)	1966 年(昭和 41 年)	1965 年(昭和 40 年)
			60 歳 子	61 歳 丑	62 歳 寅

新春祈禱・祈願

期間：元旦～14 日まで

※お正月限定特典有り



※いこいの広場にてオープン予定です。

社務所にて熊手、各種お守り、お正月限定お守りステッカー、御朱印紙等頒布予定です。



2026 年 年間行事

7 月	5 日 (日) 26 周年大祭、月霊感謝のみ祭り、蛍復活奉告祭	
	14 日 (火) 盆帰幽招魂祭	
	20 日 (月・祝) 神道交流会	
8 月	2 日 (日) 世界恒久平和祈念供養祭、月霊感謝のみ祭り	
	8 日 (土) 平和特別祈祷祭	
	11 日 (火・祝) 神道交流会	
	15 日 (土) 盆帰幽招魂祭	
	16 日 (日) 全国合同収穫祭	
9 月	6 日 (日) 月霊感謝のみ祭り	
	22 日 (火・祝) 神道交流会	
	23 日 (水・祝) 彼岸帰幽招魂祭	
10 月	4 日 (日) 月霊感謝のみ祭り	
	12 日 (月・祝) 世界平和祈願・収穫祭 (御神田)	
	19 日 (月) 神道交流会	
11 月	1 日 (日) 世界鎮火祭、月霊感謝のみ祭り	
	8 日 (日) 七五三	
	9 日 (月) 神道交流会	
	15 日 (日) 七五三	
	23 日 (月・祝) 新嘗祭	
12 月	6 日 (日) 大宝開良霊祭、月霊感謝のみ祭り	
	13 日 (日) 煤払い神事	
	19 日 (土) 神道交流会	
	27 日 (日) 奉納餅つき	
	31 日 (木) 越年祭	

1 月	1 日 (木・祝) 元旦祭	
	11 日 (日) 新年祭、月霊感謝のみ祭り	
	18 日 (日) 道祖神祭 (どんど焼き)	
	18 日 (日) 神道交流会	
2 月	4 日 (水) 立春大祭、月霊感謝のみ祭り	
	9 日 (月) 神道交流会	
3 月	1 日 (日) 月霊感謝のみ祭り 火成祭り流し雛奉告祭	
	8 日 (日) 四股踏み神事 御鍬祭・水神祭	
	16 日 (月) 神道交流会	
	20 日 (金・祝) 彼岸帰幽招魂祭	
4 月	5 日 (日) 月霊感謝のみ祭り	
	12 日 (日) 全国合同お田植え祭	
	13 日 (月) 神道交流会	
5 月	4 日 (月・祝) 月霊感謝のみ祭り、端午の節句奉告祭	
	17 日 (日) 水引き・四股踏み祭 (御神田)	
	17 日 (日) 神道交流会	
	24 日 (日) 世界平和祈願・お田植え祭 (御神田)	
6 月	7 日 (日) 天地四方拝、月霊感謝のみ祭り	
	15 日 (月) 神道交流会	